



# 発電量 2.4 メガワット: ロブリー (タイ)

タイ・バンコクの北、約 155 km のロブリー県にある太陽光発電所は、Conergy システムテクノロジーを最大限活用したアジアで最初のメガソーラー級の太陽光発電所です。さらに弊社では、タイに於いて同グループで 2 か所目のメガワット級の発電所を 8 ヶ月の工期で完成させており、アジア全地域にて高品質のソリューションを提供する礎を築いております。

## Conergy システムテクノロジーをフル活用し、100% のシステム品質を確保

Conergy は、タイにおいてはコンソーシアムパートナーであるアネックスパワー (Annex Power) と協業し、インドラマ・ベンチャーズ (Indorama Ventures) の 2.37 メガワットの発電所を建設を行いました。この太陽光発電所では、数々のアワード受賞歴にある弊社 Conergy システムテクノロジー製品のみを使用しております。この発電所では 10,800 枚の Conergy PowerPlus 220P の太陽電池モジュール、そして 135 台の Conergy IPG 15T パワーコンディショナー、その他多くの Conergy ブランドの製品が使用されました。さらに 1,080 基におよび Conergy SolarLinear 架台システムを使用し、その総面積はサッカー場ほぼ 7 面に匹敵します。

この発電所は年間約 3,500 メガワットアワーの電力を発電し、タイの一般家庭約 1,200 世帯にクリーンエネルギーを供給しています。さらにこの発電所は年間約 1,860 トンの二酸化炭素排出量を削減しています。この削減量は航空機 700 機がドイツ・ハンブルグ、シンガポール、タイ・バンコクを往復するとき発生する産出量に相当します。

## 信頼できるパートナーが成功の鍵

インドラマ・ベンチャーズ社の PET 事業部最高執行責任者 (COO) である G.L モディ氏は、以下のように述べています。

「Conergy の高品質システムテクノロジーを活用し、1 つの業者より一括調達を可能にすることが、弊社にとってきわめて重要なことでした。当社は高評価を得ている Conergy の技術を信頼しています。インドシナ半島における Conergy の信頼できるパートナーであるアネックスパワーが、この発電所の建設を行い、さらに運用管理を行っています。」

## アジアにおける Conergy システムテクノロジーの新しいランドマーク

Conergy のアジア太平洋および中東部門代表の Mark Lohoff は「アジアは非常に価格競争が厳しい地域ですが、弊社のタイにおけるプロジェクトは、当社の品質に対する意識と投資への保障がこの地域のメガソーラプロジェクトの 2 つの重要な要因になることを示しています」と述べています。

品質面で妥協しない製品を提供することにより確実なプロジェクトの達成が可能になります。100 万枚の太陽電池モジュール PowerPlus のうち、品質での不具合による返品は僅か 30 枚で、今やこの品質の数値がソーラー業界の品質基準となっています。さらに Conergy はこのプロジェクトをシステム総出力設計性能の 90% を保証をしました。そのことにより単一業者から品質と保証の両方を得ることができました。

タイでの太陽光発電市場は、今後 3 年間に 23% の成長率を見込んでいます。Conergy は、この 8 ヶ月という間に東南アジア市場において 2 番目の大規模プロジェクトを実現しました。これはタイにおける低炭素社会の推進を支援できることを示しています。



プロジェクトの概要	
日付	2011 年 4 月
場所	ロブリー (タイ)
発電量	2.37 メガワット
年間生産メガワットアワー	年間 3,500 メガワットアワー
太陽電池モジュール	Conergy PowerPlus モジュール 10,800 枚
パワーコンディショナー	Conergy IPG 15T 135 台
架台	Conergy Solar Linear
発電所の規模	44,500 平方メートル
二酸化炭素削減量	1,860 トン/年

